

そらまめ通信



令和2年3月号（第15号）宮津武田病院 透析室だより

皆様いかがお過ごしでしょうか。

日頃より皆様のご理解とご協力に、感謝申し上げます。

引き続き、職員一丸となって参りますので、宜しくお願い致します。

新しいスタッフ紹介

看護師の

大槻秀美（おおつきひでみ）です。

令和元年11月からお世話になって
います。

少しずつですが、この病院の雰囲気
慣れてきました。

患者さんの為に役に立てる様に頑張
りますので、宜しくお願いします。



透析交流会お疲れ様でした！

令和2年2月3日（日）

当日は患者様14名、家族様4
名に参加していただきました。

生活状況や要望など、患者様同
士での意見交換ができました。

今後もよりよい透析室作りにご
協力宜しくお願い申し上げます。



～透析時間について～

質問： なぜ決まった時間、透析することが大事なの？

回答： 腎臓の働きを透析でまかなっているから。

腎臓は、24時間 365日働き続けて、体に溜まる水分や老廃物を尿として排泄しています。血液透析では、腎臓の代わりにしてくれる人工腎臓（ダイアライザー）が、その働きを賄っています。

<例：1週間> 正常な腎臓：24時間 × 7日 = 168時間/週

血液透析：3～5時間 × 3日 = 9～15時間/週

上記の通り、正常な腎臓に対して、十分とはいえませんが、血液透析で最低限の時間を賄うことで、普段の日常生活を送ることが出来ています。

透析時間が長い方が、体に優しいのです。

質問： 時間延長が必要なのはどんなとき？



回答： ①決まった時間内で体内の水分が抜けないとき。

1時間で抜ける水の量は個人によって異なります。

時間内で余分な水が抜けるよう、次回透析までの目標体重を把握しておきましょう。

②一旦、透析を中断したとき。

血圧低下や機会トラブル、途中でトイレや検査に行く場合です。

中断しても、決められた透析時間は必要です。

次回のそらまめ通信は夏発行予定です。